

## 第 29 回 N H K 杯全国中学校放送コンテスト愛媛大会参加規定

### 1 日 的

情報化社会に生きる中学生の、豊かな人間性の育成をめざし、中学校の特色ある教育活動の中枢となる校内放送活動の健全な育成と放送教育の充実・発展をはかる。

### 2 ね ら い

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- (2) 番組制作を通して、今後の校内放送活動の充実・発展をはかる。
- (3) 中学校生活の中にあるおいを育み、教師と生徒の心のふれあいの場をつくる。

### 3 主 催

愛媛県教育研究協議会、愛媛県放送教育研究協議会

### 4 共 催

N H K 松山放送局

### 5 日 時

平成 24 年 7 月 23 日 ( 月 ) テープ ( CD-R,DVD-R ) 審査 非公開

### 6 コンテスト種目

- (1) アナウンス (2) 朗 読 (3) ラジオ番組 (4) テレビ番組

### 7 参加資格、エントリー

- (1) 平成 24 年 8 月現在、中学校および中等教育学校の前期課程、特別支援学校の各中学部、各種学校 ( 修業年限が中学校と一致していること ) に在学中の生徒であり、またその作品であること。
- (2) ラジオ・テレビ番組部門は、中学生の創作、制作に限る。また、他のコンクールなどに参加した作品および参加予定の作品の参加は認めない。
- (3) アナウンス・朗読部門のエントリー枠は、各校、それぞれの部門ごとに 3 本以内とする。1 部門でもよい。
- (4) アナウンス・朗読部門については、同 人が両部門にエントリーすることはできない。
- (5) ラジオ・テレビ番組部門については、同じ学校から部門ごとに各 1 本までエントリーすることができる。

### 8 参加申し込み

- (1) 学校単位に次のものをまとめコンテスト事務局に送付する。

参加申込書 1 通 ( コピー可 ) 原稿・台本、録音・録画メディア

- (2) 参加申し込みは、平成 24 年 7 月 17 日(火)必着のこと。
- (3) 参加費は無料とする。 全国大会への出品について 14 その他 (5) イ
- (4) 参加申し込み・連絡先

〒791-8044 松山市西垣生町 418 番地  
 松山市立垣生中学校内  
 第 29 回NHK杯全国中学校  
 放送コンテスト愛媛大会事務局 代表 寺谷 博将  
 TEL (089) 972-1226 FAX (089) 971-9919

9 各部門の課題と参加上の注意 (提出メディアがテープの場合)

提出メディアを CD-R, DVD-R にする場合 14 その他 (6)

(1) アナウンス部門

- <課題> 中学校生活の中から素材を求めた内容とする。
- ア 原稿は生徒の自作とし、校内ニュースやニュース解説など、自校の校内放送用のものとする。(複数の生徒が同一原稿を読むことは認めない。)
- イ アナウンス本文は、20 字×20 行以内におさめる。
- ウ 録音は、アナウンス本文の前に、都道府県名、氏名を述べる。  
 学校名は録音しない。
- エ 原稿は、A 4 版、様式 1 - 1、1 - 2 に従って書き、10 部(コピー可)提出する。
- オ 提出テープは、アナウンス 1 名につき 1 本とする。
- カ 提出テープは、カセット標準型を使用し、テープ速度は標準速度に限る。  
 テープ A 面にテープのはじめから録音する(B 面は消去)なお、ドルビー等のノイズリダクション装置などを使用しないこと。
- キ カセットテープのラベル・インデックスは様式 2 に従って記入し、貼付する。

(2) 朗読部門

- <課題> 次の作品のうち、1 編をえらび、自分の表現したい部分を決め朗読する。  
 作品のアレンジ・文章途中の省略は認めない。  
 翻訳作品は、必ず指定された訳者による本を使用すること。

指定作品	「セロ弾きのゴーシュ」より「セロ弾きのゴーシュ」	宮沢 賢治	著	(角川文庫)
	「我輩は猫である」	夏目 漱石	著	(新潮文庫)
	「李陵・山月記」より「李陵」	吉野 源三郎	著	(新潮文庫)
	「静かな日々」	椰月 美智子	著	(講談社文庫)
	「「自分の木」の下で」	大江 健三郎	著	(朝日文庫)
	「クリスマス・キャロル」 ディイクス 著/村岡 花子 訳			(新潮文庫)

( )内の出版社に限る。 と は指定作品のみ。 は収録作品のいずれを選んでもよい。 は新装版を使うこと。

ア 朗読のはじめに、都道府県名、名前、作者名、作品名を述べ、それを含めて2分以内で朗読する。

イ 原稿は、A4判様式1-1、様式1-2を使って書き、**10部(コピー可)提出する。**

ウ 提出テープは、朗読1名につき1本とする。

エ 提出テープは、ノーマル仕様のカセットを使用する。標準速度で録音しテープA面にテープのはじめから録音する(B面は消去)。なお、ドルビー等のノイズリダクション装置などを使用しないこと。

オ カセットテープのラベル・インデックスは様式2に従って記入し、貼付する。

(3) ラジオ番組部門

<課題> 中学校生活から生まれたもので、テーマは自由とする。

ア 作品の最後に「制作は 中学校放送部(放送委員会等)でした」というクレジットコールを入れ、それを含めて5分以上7分以内にまとめる(クレジットコール以降は音声を入れないこと)。

イ 台本を、A4判様式1-1に従って書き、**10部(コピー可)提出する。**

ウ 提出テープは、ノーマル仕様のカセットを使用する。標準速度で録音しテープA面にテープのはじめから録音する(B面は消去)。なお、ドルビー等のノイズリダクション装置などを使用しないこと。

エ カセットテープのラベル・インデックスは様式3に従って記入し、貼付する。

(4) テレビ番組部門

<課題> 中学校生活から生まれたもので、テーマは自由とする。

ア 番組の前後に10秒ずつ(規定時間外の扱い)のテストパターンを録画する。様式5による。

イ 台本を、A4判様式1-1に従って書き、**10部(コピー可)提出する。**

ウ 5分以上8分以内でまとめる。(テストパターンの間を計測する)

エ テレビ放送の再録等を加えたものは認めない。

オ 提出テープは、VHS規格(標準モード)とし、テープのはじめから録画する。なお、音声はHi-Fiのみを使用する(家庭用ビデオで再生できること)。また、S-VHSは使用しないこと。

カ ビデオテープのラベル・ケースの背ラベルは様式4に従って記入し、貼付する。

**次の場合も失格となるので注意すること。**

アナウンス部門は(1)ウ、朗読部門は(2)アが不備なもの。

ラジオ番組部門は、作品の最後にクレジットコールが不備なもの。

テレビ番組部門は、番組の前後にテストパターンが不備なもの。

本コンテストは著作権法に基づいて審査を行うので、著作権に関する使用内容を守ること。

## 10 審査の視点

### (1) アナウンス部門

#### ア 原稿

(ア) 素材の選び方 (イ) 文章表現 (ウ) 内容

#### イ アナウンスメント

(ア) 内容の把握 (イ) 表現の仕方 (ウ) テンポ (エ) ポーズ  
(オ) マイクの使い方 (カ) 発音 (キ) 発声 (ク) アクセント  
(ケ) イントネーション

### (2) 朗読部門

#### ア 原稿

(ア) 作品の選定  
(イ) 朗読部門の抽出の仕方

#### イ アナウンスメント

(ア) 内容の把握 (イ) 表現の仕方 (ウ) テンポ (エ) ポーズ  
(オ) マイクの使い方 (カ) 発音 (キ) 発声 (ク) アクセント  
(ケ) イントネーション

### (3) ラジオ・テレビ番組部門

#### ア テーマ点

中学校生活をとりまく素材の中から適切なテーマを求め、番組内容に効果的に表現されているか。

#### イ 制作技術点

(ア) 企画構成 (イ) 取材の方法 (ウ) 演出・編集  
(エ) 技術(録音、アナウンス、音楽や効果音など)

## 11 表彰

- (1) 各部門の最優秀には、主催者賞(賞状と楯)を贈る。
- (2) 各部門、数点を優秀または優良と認め、主催者賞(賞状と楯)を贈る。
- (3) コンテスト種目各部門への参加が積極的で、校内放送活動への取組を熱心に行っていると判断される中学校には、学校奨励賞を贈る。
- (4) コンテスト入賞作品の著作権の取り扱いは、主催団体に属する。

## 12 様式の諸規定

第29回NHK杯全国中学校放送コンテスト参加規定(緑の冊子)P.7~P.12 参照

コピーして使用

地区名は、愛媛と記述する。

## 13 著作権に関する表記内容

第29回NHK杯全国中学校放送コンテスト参加規定(ピンクの冊子)P.17,18 参照

#### 14 その他

- (1) 審査結果は、後日、各学校あてに連絡する。
- (2) 各部門の上位優秀作品等は、第 29 回 NHK 杯全国中学校放送コンテストに愛教研の推薦で応募する。
- (3) 応募テープ (CD-R,DVD-R) は返却しない。
- (4) 問い合わせは、第 29 回 NHK 杯全国中学校放送コンテスト愛媛大会事務局まで。

〒791-8044 松山市西垣生町 418 番地 松山市立垣生中学校内 第 29 回 NHK 杯全国中学校 放送コンテスト愛媛大会事務局 代表 寺谷 博将 TEL (089) 972-1226 FAX (089) 971-9919
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (5) 第 28 回 (昨年度) から変更になった点 (第 27 回までと違う点)
  - ア 提出作品のメディアが第 30 回大会より変更 (予定) となる。今大会は移行期間と位置づけ、従来のメディアによる提出と新しいメディアによる提出の双方を受け付ける。  
第 29 回 NHK 杯全国中学校放送コンテスト参加規定 (ピンクの冊子) P.2 参照
  - イ 全国大会への出品については、アナウンス・朗読部門については、1 名につき 2000 円  
ラジオ・テレビ番組は 1 作品につき 3000 円を各学校が負担することとする。ただし、市・町・村立の公立中学校については、愛教研が全額負担する。
- (6) 提出メディアについて  
新しいメディア (CD-R,DVD-D) での提出については、第 29 回 NHK 杯全国中学校放送コンテスト参加規定 (ピンクの冊子 P.14,15) を参照すること。ただし、愛媛大会への原稿・台本の提出は、提出するメディアを問わず、各 10 部 (コピー可) とする。

<memo>

# 第29回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛媛大会参加申込書

学校名

所属長氏名

職印

担当者氏名

印

部 門	参加者・作品名等			
アナウンス	フリガナ			学年
	氏 名			
	フリガナ			学年
	氏 名			
	フリガナ			学年
	氏 名			
朗 読	フリガナ			学年
	氏 名			
	作品名		番号	
	フリガナ			学年
	氏 名			
	作品名		番号	
	フリガナ			学年
	氏 名			
	作品名		番号	
ラジオ番組	フリガナ			
	題 名			
テレビ番組	フリガナ			
	題 名			

